

令和6年度 学校経営計画

<p>学校教育目標</p>	<p>自ら学び 心豊かに 笑顔輝く 津保美っ子の育成</p>	
<p>学 校 像</p>	<p>子 ども 像</p>	<p>教 師 像</p>
<p>①一人一人が大切にされ、みんなが笑顔になれる学校 ②学校・家庭・地域のつながりを通して、豊かな学びが創造できる学校 ③お互いの違いを認め合い、みんなが高め合うことができる学校</p>	<p>①進んであいさつができる子ども ②自分の目標に向かって粘り強くやり抜くことができる子ども ③主体的に考え、高め合う子ども ④友達を思いやり、助け合い、共に伸びようとする子ども</p>	<p>①子どもの思いや願いを大切にし 一人一人の成長を支える教師 ②保護者や地域の思いや願いを大切にし、連携して教育実践に取り組む教師 ③チーム牛津の一員として、協働し、高め合う教師 <b>「楽しく・助け合い・高め合う」</b></p>
<p>校長の経営方針</p>	<p>1 家庭・地域とのつながりを大切にしながら育む、豊かな心（出番・役割・承認）の醸成 2 児童がより楽しくわかる授業づくりと校内研究の充実 3 地域とともに歩み、地域へ貢献できる学校の推進 4 特別支援教育・UD（ユニバーサルデザイン）を基盤とした教育の充実 5 安心・安全な教育環境の充実 【年間重点目標】 <b>○進んであいさつ+1 ○つなげる（反応する） ○言葉を大切にする</b> ⇒ 自分で考え行動する子どもへ</p>	
<p>教育目標達成のための重点取り組み</p>		
<p>項 目</p>	<p>重点取組内容</p>	<p>本年度の具体的な取組</p>
<p>① 学力向上 (ICT活用教育を含む)</p>	<p>○校内研を充実させ、「主体的に考え行動する児童」の育成を図る。 ○基本的学習過程を揃え、統一した指導方法で取り組む。 ○児童が落ち着いて、楽しく学習できるように、教職員の指導力（ICT活用も含め）を磨き、高める。</p>	<p>○対話交流活動「つぼみタイム」の充実、児童が主体的に学ぶことができる環境を整える。 ・思考を可視化する話し合い活動 ・発言をつなげる ・友達の言葉に反応する ○授業始まりの立腰、授業終わりの振り返りなどにより、落ち着いた授業環境、学習規律の場作りを推進する。 ○校内研究、教師同士の授業参観推進月間、日々の情報交換等のチーム力によって、個々の指導力を高める。 ○より学びを深める効果的な ICT 活用を推進する。 ○読書 100 冊を目指し、読書好きの子どもへ育てる。</p>
<p>② 心の教育 (いじめ防止を含む)</p>	<p>○「出番・役割・承認」のサイクルを大切にし、児童のやりがいや自己肯定感を高めながら、心を育ていく。 ○人権・学年集会、道徳授業等の実践を充実する。</p>	<p>○児童の自主性や意欲を尊重した学校行事、児童会活動、学級活動を充実させる。感想交流による児童同士の認め合いを充実する。 ○学校全体で、計画的・継続的児童の心に届く人権教育（人権教室6回、人権集会1回）や道徳に取り組む。 ・言葉を大切にする</p>

	<p>○全職員で、児童の情報を共有化し、いじめ・不登校等の早期発見と未然防止に努める。</p>	<p>○「いじめ・心を考える日(毎月10日)」と連携させた「月の心」アンケートを実施し、いじめの早期発見につなげる。</p> <p>○事態の内容や問題を的確に把握すると共に、職員同士の情報連絡会を密にし、その後の方向性を明確にし、スピード感のある指導・対応を行う。児童や保護者への周知・理解をきめ細かに行う。(ガラス張りの生徒指導、早期発見・組織的対応)</p>
③健康・体づくり	<p>○運動に親しむことのできる時間や場を創造する。</p> <p>○自分の体や心の健康に関心を持ち自分の体は自分で守ろうとする態度を育てる。</p> <p>○健康に、食事は大切であるという意識を高める。</p> <p>○安心、安全な教育環境の整備を行う。</p>	<p>○運動環境を整えたり、体育教具を工夫したりし、学校全体で体育学習や運動を活性化する。</p> <p>○衛生検査等の結果を児童に知らせ、意欲的な取組にする。歯みがきの習慣化を促す。</p> <p>○「給食週間」「ふるさと食の日」の実施を通して、児童や保護者へ食の大切さを周知する。</p> <p>○落ち着いた学校生活を生み出す、安心、安全な美しい教育環境づくりを行う。</p>
④業務改善・教職員の働き方改革の推進	<p>○勤務時間管理に関する意識改革に努め、学校・教師が担う業務の再考に努める。</p> <p>○働きやすく、活気に満ちた職場づくりをめざす。</p>	<p>○慣習にとらわれず、業務のやり方などを工夫し、超過勤務時間を、昨年度より削減する。毎週金曜日は定時退勤日とする。</p> <p>○校時限の見直し、成績二期成の導入などにより、働きやすい環境をつくる。</p> <p>○コミュニケーションや同僚性を大切にし、働きやすい、活気のあるチーム牛津小(職場)にする。</p>
⑤特別支援教育の充実	<p>○特別支援教育の充実 ※特別支援学級 10学級 (知的3、情緒6、病弱1)</p>	<p>○児童一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援を組織的・継続的に行う。</p> <p>○全ての職員が、特別支援教育、UD教育に関する理解や知識を深めると共に、具体的かつ実践的指導や支援の方法などを習得できるように、特別支援教育の研修の充実に努める。</p>
⑥学校独自の項目	<p>○ふるさとを愛する教育</p>	<p>○地域人材を活用した学習活動を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に学ぶ学習の充実</li> </ul> <p>○児童によるボランティア活動、社会支援活動等、社会へ貢献できる取組を企画する。</p>